

第35回 船橋市地域公共交通活性化協議会 会議録

日 時：平成29年10月24日（火）

15：00～16：00

場 所：船橋市役所9階 第1会議室

出席者：別添名簿参照

事務局	<事務連絡>
事務局	1. 事務連絡
副会長	1. 開 会
	2. 議事及び報告
副会長	それでは、1つめとして「会長の互選」についてでございます。「船橋市地域公共交通活性化協議会設置要綱」第6条に基づきまして、会長の互選を行います。
委員代理人	尾原副市長を推薦します。
副会長	ただ今、尾原委員を推薦するご発言がありましたが、いかがでしょうか。
	<異議なしの声あり>
副会長	それでは尾原委員に協議会の会長をお願いするということで、ご承認いただきましたので、尾原委員には会長席に移動をお願いいたします。
会 長	ただいま、会長職をおおせつかりました船橋市の尾原でございます。微力ではございますが、精いっぱい努めさせていただきますので、皆様にはお力添えを賜りますようお願い申し上げます。 本協議会では、「船橋市地域公共交通総合連携計画」に基づいて実施した実証実験を通じて、公共交通不便地域解消へ向けた仕組みの策定にご尽力いただいたところでございます。そして、現在は、二和地区で試験運行を、八木が谷・丸山・田喜野井の3地区では本格運行を実施しておりまして、生活を支える足として多くの方々に利用されるなど、着実な成果をあげていると承知をしております。 今後も、市民の皆様、交通事業者の皆様とともに、公共交通不便地域の解消へ向けて協議をしていきたいと考えておりますので、ご協力を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。
議 長	それでは平成29年度公共交通不便地域解消事業の実施状況について事務局よりご説明願います。

事務局	八木が谷地区、丸山地区、田喜野井地区の運行状況について説明【資料1】
議長	質問ご意見等、ございませんでしょうか。
委員	乗り残しの発生は、時間帯によって異なると思うが何時が多いか分かりますか。
事務局	朝夕は多いが、昼の時間帯でも乗り残しは発生しています。
委員	乗り残し人数の461人という数字は、どのように集計していますか。
事務局	バス停毎の乗降人数を集計しており、乗り残し人数も集計しています。
委員	道路幅を拡幅し、小型バスを走らせるような目途は立っていますか。
事務局	現在は道路安全の確保の目的で、道路拡幅の用地確保の交渉をおこなっております。現状では小型バスを走らせる目途はたってはいません。道路拡幅しても小型バスが走れるかどうかは警察と協議する必要があります。
議長	引き続き、事務局より説明願います。
事務局	二和グリーンハイツ線の平成28年度の経緯、平成28年度、平成29年度に改善した点、【資料2】平成29年度の収支状況【資料3】を説明。
議長	ただいまございました事務局からの報告について、運賃の値下げはバスを運行する事業者にも関わることでありますから、二和グリーンハイツ線の運行を行っております、事業者さんのご意見を伺いたいと思います。 委員、お願いいたします。
委員	二和グリーンハイツ線は既設系統の運賃区界との兼ね合いから、二和グリーンハイツから馬込沢駅までの運賃が210円となっております。しかし、船橋駅まで出ることを考えた場合、二和グリーンハイツ線と鉄道を利用すると、バス代210円+電車代170円の計380円がかかるのに対し、二和道から船橋駅北口へのバス代は280円であり、価格的に負けていることが事実としてあります。 日頃から、通常の営業路線においても値下げのご要望はいただいているところですが、民間企業として経営的な利益を出さなければならないという側面もあり、既設の営業路線については、なかなか運賃を下げて乗客が増えるかということを試す機会はありません。二和グリーンハイツ線の運行は実証実験であることを鑑み、運賃をさげることで利用者の増加につながるか、試してみたいと思います。 他路線との兼ね合いもありますことから、最低運賃である180円にて運行を行うことはできるのではないかと思います。

議 長	事務局どうですか。
事務局	前向きなご意見ありがとうございます。 つきましては、試験運行終了となる平成30年3月31日までの間、試験的に全線均一で最低運賃となる180円での運行をお願いしたいと考えます。
議 長	それでは、ただいまの発言内容につきましては、当協議会の目的である「旅客の利便の増進を図り地域の実情に即した輸送サービスの実現に必要な事項」を協議することとなっていることから「二和グリーンハイツ線における試験的運賃の値下げについて」を追加議事とし、協議を行いたいと思います。 委員の皆様におかれましては、何かご意見ご質問等ございますでしょうか。
委 員	改善策を講じてきたことに敬意を表します。しかし、バスが廃止になった場合、地元住民が困ると思うが、今回の運賃値下げの件については、地元住民へ話をしていますか。
事務局	地元組織と打合せを持ち、バスに乗ってもらえるよう話をしています。
委 員	二和地区は、近年戸建住宅が増えてきているが、人口増加が考えられるようなことはないですか。
事務局	二和グリーンハイツの近隣は、市街化調整区域であり、大規模なマンション等が建つようなことは考えられません。
委員代理人	運賃を下げて収支が改善した場合、今後の二和グリーンハイツ線はどうなりますか。また、運賃を下げることで、収支が悪化することが無いよう、目標人数等を地元へ周知していますか。
事務局	収支率50%は市で補助をする用意はあるので、それ以外の収支に目途がつけば、本格運行できる可能性が出てきますが、地元住民、バス事業者と調整をする必要があります。また、現行の運賃で収支率50%を達成するには、200人/日程度の乗客が利用する必要があります。今回の運賃の値下げにより17%程度収支が落ちる分を補填するには、240~250人/日程度の利用者数あれば、収支率50%は達成できるものと思われま。
委 員	住民代表としては、地域住民の便益を守ってほしいという希望があるので、学生の利用者増加等考えて、収支改善を図って欲しいです。また、これまでの改善策で収支率が10%程度改善していることから、今回の値下げから運行終了までで収支率が50%へ近づいている場合でも、50%に満たなければ運行廃止になってしまうのでしょうか。

事務局	地元組織を通じて高校へ利用を呼び掛けています。収支率が50%を越えれば本格運行の可能性あります。
委員	収支率が50%を越えない場合は協議会を通さずに運行終了してしまうのでしょうか。
事務局	収支率が50%を越えない場合は、50%に満たない部分を地元住民が負担することで補填する可能性もあります。また、収支の数字にもよりますが、将来性があると思える数字であれば、運行を継続する判断の材料になる可能性があります。
副会長	収支率によって、今後の方針を考えなければいけないので、持ち帰り検討させて欲しいです。
委員	収支の数字については仮定の話なのでここまでとなりますが、地元住民、バス事業者が努力をしているので、行政も努力をして欲しいです。また、運行の結果をもって、次回の協議会にて協議をして欲しいです。
議長	ただ今の要望について承りました。二和グリーンハイツ線の運行については、次回の協議会で報告・審議するものとします。また、今までのご意見ご質問で、運賃の値下げに関する反対意見はないものと受け取りましたので、二和グリーンハイツ線の今後につきましては、試験運行終了となる平成30年3月31日までの間、試験的に全線均一で最低運賃となる180円での運行を行うことといたします。
議長	それでは、最後に今後のスケジュールについて、事務局から説明をお願いします。
事務局	次回の協議会開催スケジュールについて説明
議長	質問ご意見等、ございませんでしょうか。
議長	それでは、これで第35回船橋市地域公共交通活性化協議会を閉会いたします。皆様、本日はありがとうございました。